

CONTENTS 3・4月 ALL 40PAGES

PAGE 02-03
協会NOW

『医学協会の健康経営優良法人ホワイト500を目指して』

PAGE 04-12

医学協会の確かな安心〈シリーズVol.29〉

『医学協会のホワイト500プロジェクトの現状と健康経営の取り組み』

女性のためのセミナーの開催についてのインタビュー

PAGE 13-16

医学協会のがん検診 2020年度の最新データを公表

『高い発見率とプロセス指標を検証しました』

PAGE 17-22

特集・新型コロナウイルス感染症に打ち勝つ健康づくり

10.31(日)Web開催『第20回日本血管血流学会学術集会』の基調講演

松本哲哉先生の市民公開講座から

「新型コロナウイルス感染症の現状と今後の対策」後編

PAGE 23-28

祝「いわむろの里」創立30周年〈最終回〉

里の未来へ…老健の理想を目指すベテランたちのレポート

PAGE 29-32

検査部通信SPECIAL

健診ぶらすに新検査登場! 超悪玉コレステロール『スモールデンスLDL-C検査』

PAGE 33-36

金さんの元気のでるメンタルヘルズ講座

〈シリーズVol.15〉健康寿命を目指す三つの寿命

PAGE 37-38

表紙の写真「紅山桜咲く、春爛漫の湯沢中央公園」

編集者からのメッセージ

医学協会の新たなロゴ「新潟ウェルネス」。その名称にある「ウェルネス」は、英語の「Well (健康な)」を名詞化したもの。米国の医学者ハルバート・ダンが提唱した健康概念で、「単に病気ではないだけではなく、輝くように生き生きしている状態」を意味します。皆様の健康維持・管理のため、最適な健診体制を整え、また、健診結果にもとづいた、ベスト・コンディションのキープ（あるいは、改善のために積極的に活用）に寄り添いたい、との思いからのネーミングです。



THE 60 YEAR

働く人たちの健康を守る健診機関として1962年に発足した医学協会は本年、創立60周年を迎えます。

この記念すべき2022年を当会は、『新たな挑戦と飛躍』の年と位置づけ、よりレベルアップした健康増進事業を展開してまいります。

今年の当会の動向をTrim誌では、リアルタイムで皆さまにお伝えしていきますので、どうぞご注目下さい。

健康経営優良法人
ホワイト500を
目指して

(一社)新潟県労働衛生医学協会
常務理事・企画部・検査部部长

松田 和博



医学協会は、2018年2月20日に健康経営優良法人の認定を取得しました。それから5年連続で認定を維持しています。しかし、上位500社に付与される「ホワイト500」の認定範囲からは漏れており、その認定取得を悲願としております。

経営資本としての人財を経営の中心に据えて、その従業員が健康で、働きやすい職場環境づくりを積極的に推進して行くことが、結果的には労働生産性の向上が図れるとして、2016年度から経済産業省が健康経営優良法人認定を開始しました。

1.当会の認定取得の目的

『県民の健康増進をサポートする健康診断や人間ドック等を主要な業務としている当会として、率先垂範して職員の健康づくりに取り組む必要がある』また、『優秀な人財確保のためには、賃金もちろん大事だが、働きがいがあり、楽しい職場を目指していることを求職者に知っていただきたい』との経営者の意思により取得を目指しました。

2.大規模法人部門と中小規模法人部門に2分

申請基準は従業員数により2分されていますが、その申請内容は同一で、規模の大小を問わず、同じ項目で評価されます。

その評価項目は、「経営理念・方針」に始まり「組織体制」「制度・施策実行」を実施後の「評価・改善」に大きく分類され、PDCAが回っているかを判断されます。その質問項目の詳細は約70にも及び、年度によって内容も変化して行きます。

3.認定取得の年間スケジュール

5～6月 認定基準の検討（経産省）

9～10月 申請受付

12月 認定結果の速報

翌年3月 認定発表

申請受付から回答するまでの期間が2ヵ月と短く、申請書作成に費やす時間は多く取れません。年間を通じて健康経営を意識した事業活動を継続する必要があります。

4.当会の現状

2021年度は大規模法人の申請は2,869社から回答があり、当会の総合順位は551～600位に含まれています。5年前の回答企業数1,239社からは大幅に増加しており、健康経営の認知度が向上して来ていると言えます。

そのため、上位500社に入ることが年々厳しくなっています。そのような状況ではありますが、評価点数が低いものから改善して来ており、5年前に総合評価52.1点だったものが今年度は58.8点までに改善して来ました。目標を60点以上としています。

5.今後の対応

評価が低い項目の改善を積極的に実施して行く所存ですが、他の評価を同時に底上げしないと上位500社には及ばないと考えています。関係医師、保健師等のアドバイスを受けながら当会独自の健康づくりを目指したいと考えています。それには職員の理解と協力が不可欠となります。

健康経営の推進が、職員、ご家族の健康増進に寄与すると共に、当会経営理念にある『お客様の感動と楽しい職場』につながり、お客様に寄り添い、安心して受診できる健診機関、スタッフとして、皆様にご認識いただけるものと確信しています。



※当会のヘルスケアトレーナーと管理栄養士が作成した職員のための運動と食事のアドバイス。メールで配信しています。

